

沿岸定線観測速報 ちば (2023 年 6 月)

千葉丸：6 月 5～8 日

千葉県水産総合研究センター

千葉県農林水産技術会議

令和 5 年 6 月 16 日

黒潮は、房総南方を離岸して東進後、向きを北東に変え、房総東方を接岸して流れていました(図 2)。水温は、銚子・九十九里及び外房海域いずれも概ね平年並でした(表 1)。

【詳細】

水温は、銚子・九十九里海域では水深 0,50,100m で平年並、水深 200m が平年よりやや高めでした。外房海域では、水深 0 m が平年よりやや低め、水深 50, 100, 200 m は平年並でした(表 1)。

水深 10, 100, 200 m では、比較的沿岸の海域に顕著な水温勾配(フロント)が見られました(図 3)。それより下層の水深 500 m では、10℃以下・塩分 34.1 PSU 以下の低温低塩分水が分布していました(図 3～6)。このような低温低塩分水は、この他に犬吠埼沖の大陸斜面上にも分布していました(図 5,6)。

黒潮は、房総南方を離岸して東進後、向きを北東に変え、房総東方を接岸して流れていました。房総東方の黒潮縁辺付近では北東へ向かう 2～3 ノットの流れが見られました。また、外房沿岸では、矢印で示すような反時計廻りの渦流が見られました(図 2)

クロロフィル濃度は、水深 10 m ではごく沿岸が $3\mu\text{g/L}$ 以上と高めになっていました。一方、水深 50m ではこのような高いクロロフィル濃度は見られませんでした(図 7)。

キンメダイ漁場の底層水温は、勝浦沖及び銚子沖いずれも前年より 1～2℃高めでした(図 8)。

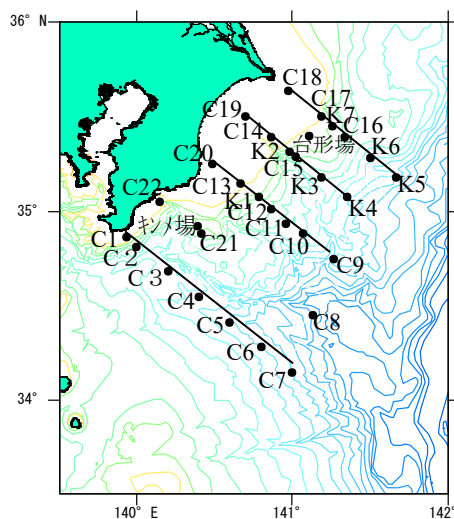


図 1 調査点

線は北から犬吠埼、九十九里、太東岬、野島崎南東線

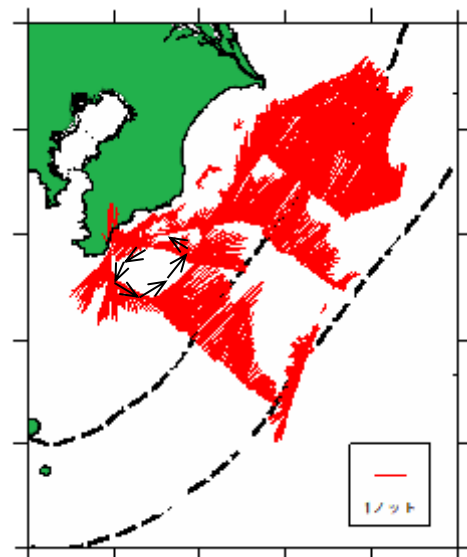


図 2 黒潮流路(破線)と流況

表 1 海域別平均水温(℃)と評価

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	20.29 平年並	18.28 平年並	17.12 平年並	14.82 やや高め
外房	20.38 やや低め	16.48 平年並	14.92 平年並	12.90 平年並

*水温評価点 銚子・九十九里海域：C14～20 計 7 点、外房海域：C1,3,11,13,21,22 計 6 点

*沿岸水温評価の目安(σ：標準偏差)

きわめて高め	2.0 σ～
高め	1.3 σ～2.0 σ
やや高め	0.6 σ～1.3 σ
平年並	0.0 σ～0.6 σ, -0.6 σ～0.0 σ
やや低め	-0.6 σ～-1.3 σ
低め	-1.3 σ～-2.0 σ
きわめて低め	-2.0 σ～

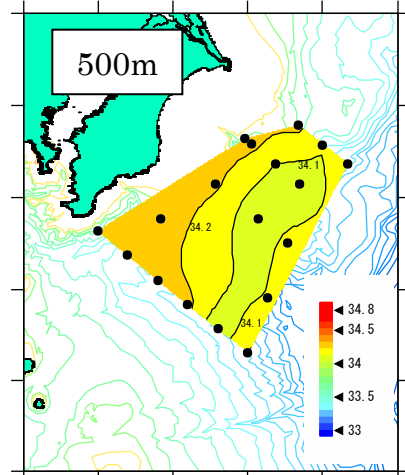
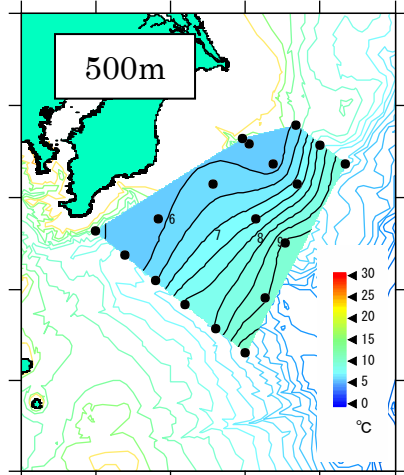
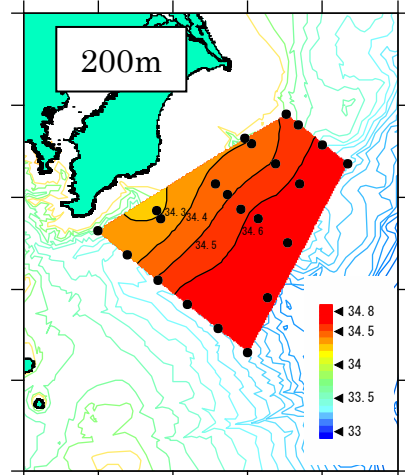
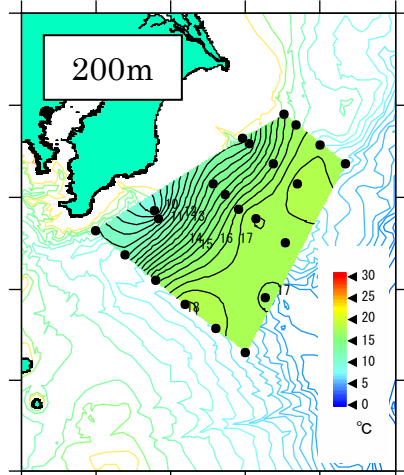
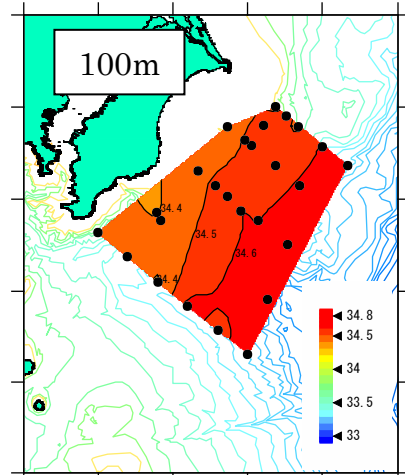
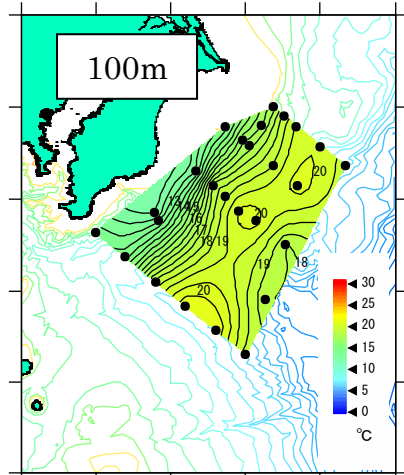
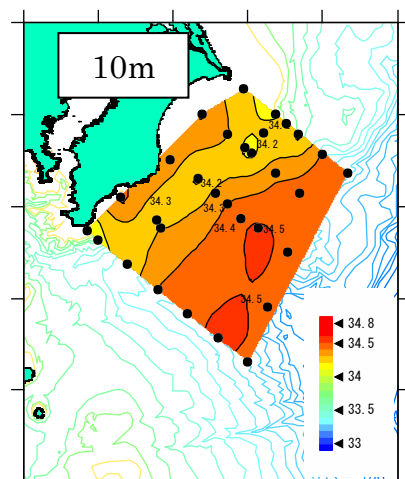
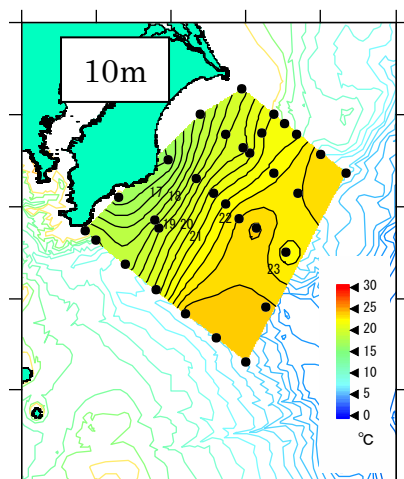


図 3 水深別の水温分布

図 4 水深別の塩分分布

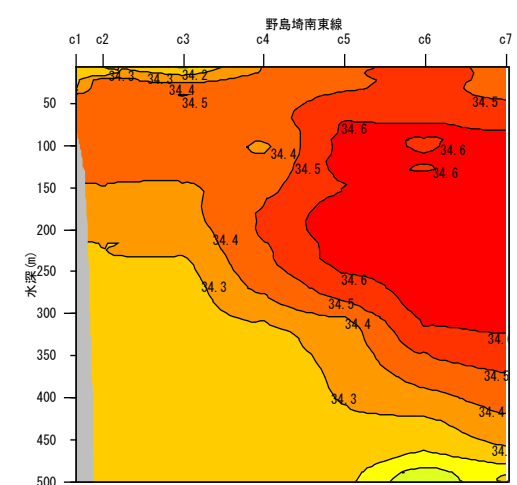
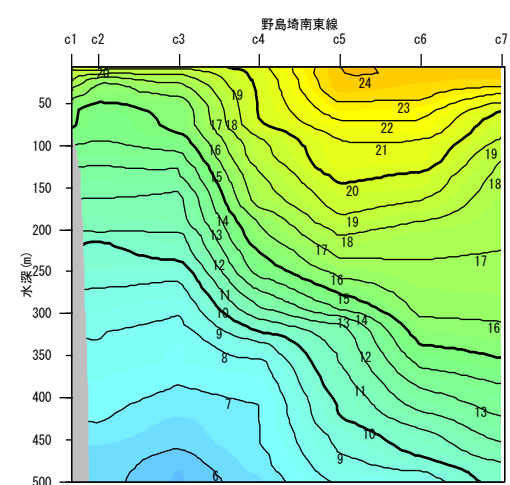
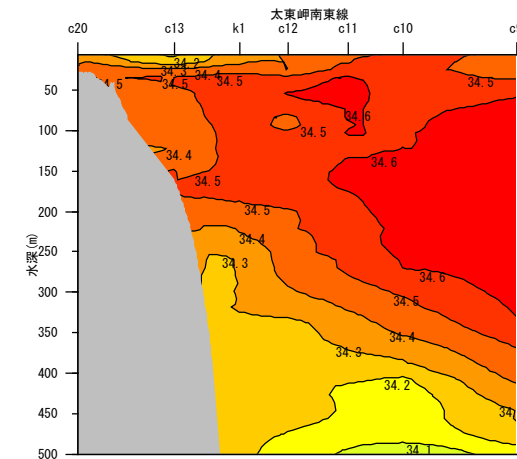
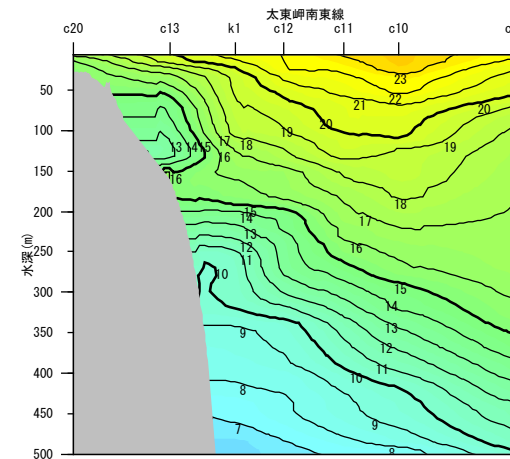
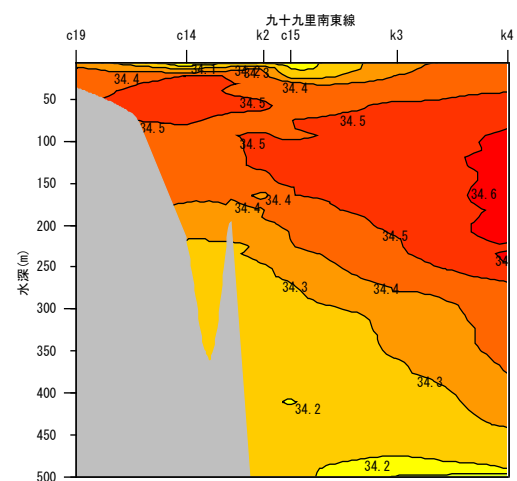
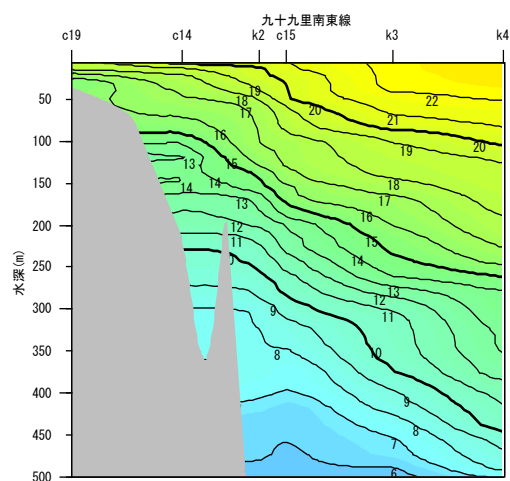
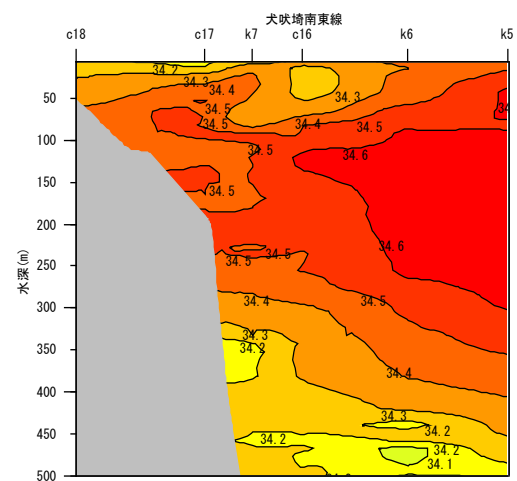
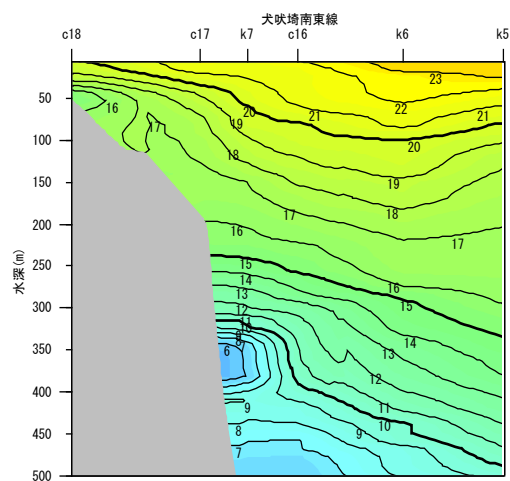


図5 水温鉛直分布

図6 塩分鉛直分布

上から犬吠埼，九十九里，太東埼，野島埼南東線（図1参照）

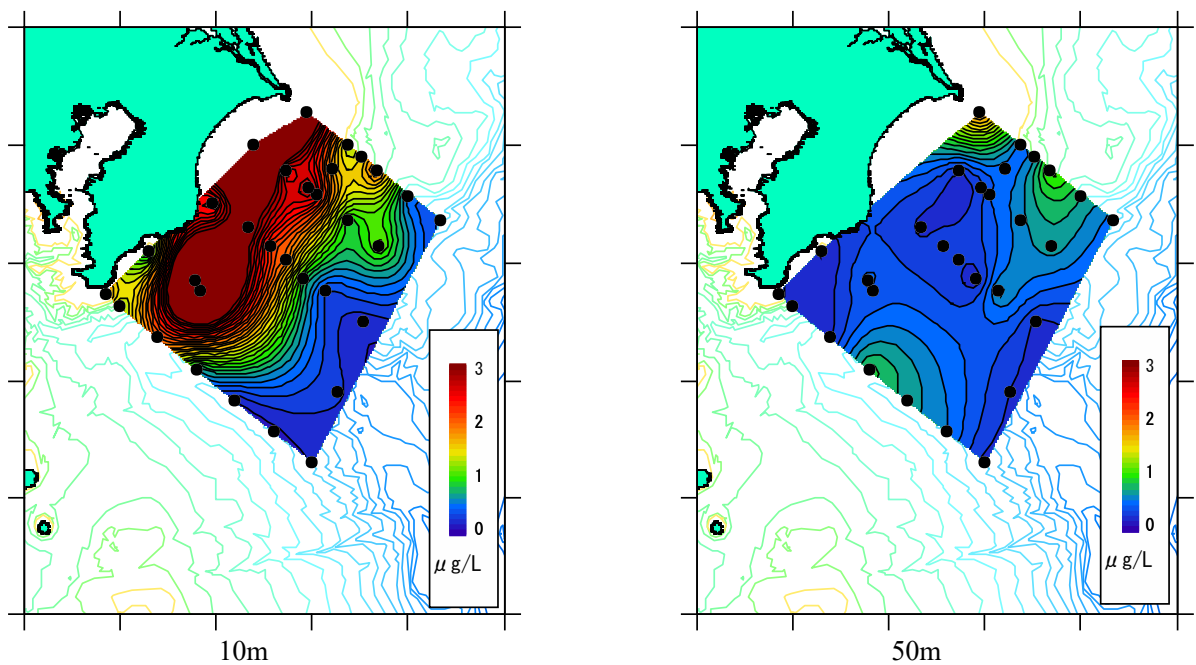
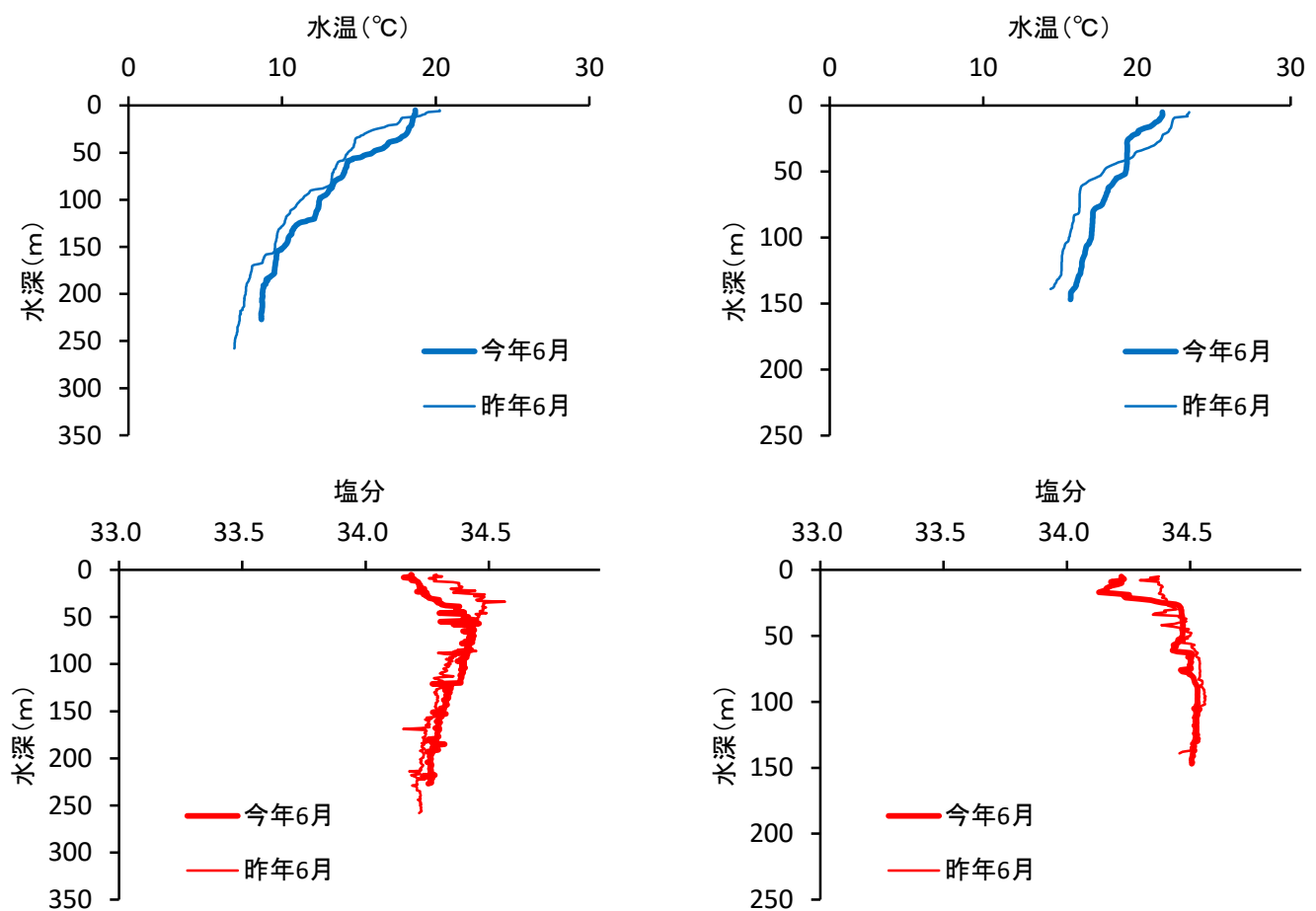


図7 水深別のクロロフィル分布（単位： $\mu\text{g/L}$ ）



勝浦沖キンメ場

銚子沖台形場

図8 キンメダイ漁場の水温、塩分鉛直分布（青：水温，赤：塩分）